

「求められる総長像」

令和6年7月30日 大阪大学総長選考・監察会議決定

大阪大学は、大阪大学の原点である適塾や精神的源流である懐徳堂から受け継ぐ先見性と自由闊達な精神を継承した大阪大学憲章に掲げる基本理念を尊重し、社会との共創を通じた、知の創出と人材の育成によって、人類の幸福と社会の持続的成長に貢献することを目指している。

総長には、その実現を追求する強い意志と、次のような資質・能力を備えている者であることが求められる。

1. 人格が高潔で、学識が優れ、国際的な視野を有する者であること
2. 学内外からの尊敬と信頼のもと、組織のリーダーにふさわしいコミュニケーション力、決断力及び実行力を発揮できる者であること
3. 大阪大学の理念実現のため、将来のビジョン及び方策を明確に示し、これまで築いてきた経営方針を踏まえつつ、高い志をもってその実現に取り組むことができる者であること
4. 実学の伝統と総合大学としての特色を追求し、多様性と包摂性を尊重しつつ、グローバルな教育基盤及び研究環境を構築して、大学の存立基盤を確立することができる者であること
5. 社会変革に貢献する世界屈指の大学を目指し、これまで大学が推進してきた事業を継承しつつ、大学改革を強力かつ柔軟に推進する経営能力を有する者であること